

〔参考例〕

①これからの社会で生きていくために、私は「友達と直接話をする」ことが大切だと思います。

私はどちらかというと友達と直接話をするのが苦手です。だから、②大事な話までSNSを使って話をしたり、スタンプなどで終わらせたりしてしまっています。でも、そこでの会話は他愛のないもので、相談したいことや悩みごとなど、本当に聞いてほしいことはほとんど話せません。自分の気持ちもほとんど伝えられず、相手に合わせてしまったり、なんとなく軽い感じで終わってしまったりしています。だからと言って、友達と直接話をするには、どのように話せばいいかよく分からず、また、なんとなく照れくさくてできません。

でも、③鴻上尚史さんが「大切な人と深くつながるために」の中で、「コミュニケーションの練習をしている」と思ってください。最初は苦しいですが、「大丈夫。」と述べているように、きちんと相手と向き合って話をしないと、友達と深いつながりにはなりません。私にとって友達はとても大切なもので、もっと仲良くなりたいと思っています。

苦手だからとか、苦しいからとかと言ってさけていけば、いつまでたっても軽い会話しかできません。きっと最初はうまくいかないと思いますが、④「練習をしているんだ」と思って、友達と直接話をしていきたいと思えます。ひよっとすると、けんかをしてしまうかもしれませんが、それを乗り越えていけば、きっと今よりも仲が深まると思います。そう信じてがんばりたいです。

構成の一例

- ・ 初め…… (①) 自分の考えを述べる。
- ・ 中……… (②) 理由の中に、自分の経験などを述べる。
- (③) 引用する。引用箇所は「」で書きぬく。
- ・ 終わり… (④) 自分の考えをもう一度述べる。